

野洲市教育研究所だより

11月号

授業力向上講座②道徳

今年度は 11 月に授業を通しての研修講座を 4 回開催しました。

道徳科 (2 回)、国語科、外国語活動の 4 授業で、今号は道徳科と外国語活動の特集です。

11 月 8 日 (木) 授業力向上講座② (道徳科)



講師：滋賀県総合教育センター

主査 地石 玲子 先生

授業者：堀原 大地 教諭 野洲小学校 4 年 1 組担任

主題名：「正しいことは自信をもって」教材名：友達が泣いている (学研)

(A 善悪の判断、自律、自由と責任) <参加者> 6 名

<参加者の声>

○道徳の授業の作り方や発問の組み立て方に日々悩んでいたもので、色々な話を聞くことができ良かったです。また、道徳の評価について具体的なお話が聞けたので今後評価の観点をしっかり定めて授業作りをしていきたいと思ひます。

○地石先生の授業の視点を教えていただいたので、自校で生かしたいと思ひます。

○少人数での研究会だったこともあり、聞きたいことや思っていることを言う場面があつて、いつもよりよかつた。変わったところと変わらないところをもう少し理解して、授業をくみだてていきたいと思ひます。

○板書を工夫していきたいと思ひます。来年から教科化になりますが、まだまだ評価をしっかりとできていない自分がいます。なので、評価についてもうかがえて良かったです。

<教育研究所の所感>

○児童の思考の流れを大切にしたい念入りの授業づくり、また、児童への決め細やかな配慮がたくさん見られた本時の授業から、参観者は多くのことを学ぶことができました。

○板書は、構造的に計画されており、授業者が児童の発言を生かして意味付けをしながら黒板を埋めていきました。児童が「視覚的」にとらえ「思考ツール」として活用できるように工夫されていました。

○「発言の少ない児童」「書いたことを読み上げるだけの児童」がいたことから、今後の課題として「グループにおける対話の活性化」が挙げられました。「司会を育てる」「意図的指名をする」等の助言をいただきました。



野洲市教育研究所

TEL 077-587-6028

Email kenkyu@city.yasu.lg.jp

第114号 2018.11.29.



英語教育推進講座

③

公開授業を提供いただいた授業者の先生、ご協力いただいた会場校の先生方、ありがとうございました。

11月12日(月) 英語教育推進講座③ (英語)



講師：京都教育大学

教授 泉 恵美子 先生

授業者：青木 美佳 教諭 (三上小学校 4年1組担任)

支援員：佐田 淳子 支援員

単元名：アルファベットとなかよし <参加者> 15名

<参加者の声>

○やはりクラスの担任の先生との授業ならではのアイデアが今回は生かされていたので、また自校でもこういうアイデアをシェアできたらと思った。

○子どもの実態にあった単元の目標が主体的に学びになるのだな、目標設定の重要性を改めて思い知らされました。

○外国語活動するときも個人→グループ→全体で学習を身につけていくことの大切さに改めて気づくことができました。中学年の「やってみたい!」「楽しい」という気持ちを維持できるように、もっと工夫していきたいです。

<教育研究所の所感>

○学級担任の青木先生と佐田支援員による4年生の外国語活動の授業では、担任ということを含めて、単元の出口を「パスデーカレンダーをつくる」活動に設定し、アルファベットの文字を正しく覚える必然性を生み出しています。本来なら3時間扱いの時数を1時間増やすことで、子どもの実態に応じた流れを作ることができました。また、授業中の子どもへの声かけは普段の児童の様子を知っているからこそできるものであり、終始温かい声かけ、雰囲気ですべてが進められました。

○研究協議では参加者から積極的な質問や意見がだされ、今後の指導の参考になるものも多かったと思います。

○指導講話では京都教育大学の泉先生から、今日の授業の改善点や今後の小学校の外国語活動と中学校の英語の授業のあり方について詳しくお話を聞かすことができました。来年度の小学校英語の指導体制が不透明な中で、最新の英語科指導の内容についてきめ細かく教えていただきました。

